

サービス改善計画書

策定日: 令和4年3月10日

事業・サービス名: 放課後等デイサービス

施設・事業所名: きぼう

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	△	玄関が狭く、車いす利用者が入りにくい。	玄関に物を置かず、車いす利用者の方でも出入りしやすいようにしていきます。	令和4年度	児発管 職員	
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	×	設定することはできていても振り返りまではできていない。	支援内容の話し合い・振り返る時間を設け、全員で参画できるようにしていきます。	令和4年度	児発管 職員	
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	×	研修の機会を設けることができなかった。	勤務年数に見合った研修参加を推進していきます。	令和4年度	児発管	
活動プログラムの立案をチームで行っている	△	チームでプログラムを立案することはできていない時もある。	職員で話し合いプログラムの設定に取り組んでいきます。	令和4年度	児発管 職員	
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	△	他の業務に入っている職員や送迎に出でいたりする職員もあり打ち合わせが不十分な時もある。	送迎前などに職員が集まれる時間を設け、打ち合わせができるようにしていきます。	令和4年度	児発管 職員	
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	△	訪問時などで関りはあるが、様子を伝えるだけで助言や研修を受ける機会が確保できていない。	情報を密に、連携協力できるように、取り組んでいきます。	令和4年度	児発管 職員	
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	△	保護者会の設置はしていない。	保護者同士での交流を支援し、連携ができるように情報を提供していきます。	令和4年度	児発管 職員	

